

明日へつなぐ。

市民の願いを実現します

北茨城市長
豊田 稔



重要施策

→ 復興事業の総仕上げ

→ 新清掃センターの建設

→ 新磯原中学校の建設

→ 第1次産業の活性化

→ 学校給食費の無償化



後援会長挨拶

日頃より後援会活動にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。豊田稔市長は、震災からの復興事業はもとより、常に市民の目線で健康で住みやすい街づくりのため様々な事業を展開してきました。これらの事業の継続と市民生活に欠くことのできない老朽化の著しい清掃センターの建てかえ事業に取り組んでいます。この事業の国からの補助金は、かつてないほどの補助率です。この建設費の交付金確保には、豊田市長の政治的な手腕でなければ成し得ないところです。

この度の市長選にあたり再度出馬をお願いし、市民が住んでいて良かったといえる、未来につづく北茨城にご尽力いただきたいと思います。

後援会の皆様には、引き続きお力添えをお願いするとともに、これからも、後援会の拡大と発展に皆様と共に努めてまいりますので、なお一層のご協力ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

豊田みのる後援会 会長 和田 恒喜

安心 安全 快適 住みたいまちを目指して



明日へつなぐ
夢
を実現しています

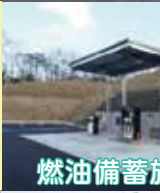
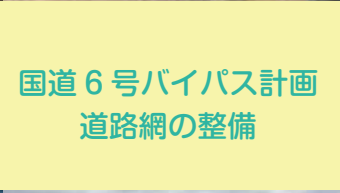
災害公営住宅整備事業 計 144 戸

- 平潟地区 建設戸数：39戸
- 大津地区 建設戸数：39戸
- 中郷地区 建設戸数：32戸
- 磯原地区 1丁目 建設戸数：12戸
- 磯原地区 2丁目 建設戸数：22戸

防災集団移転促進事業

- (平潟) 移転戸数：28戸
- (磯原) 移転戸数：43戸

- 関本地区小中一貫校 H28.4 開校
- 新市民病院 H26.11 開院
- 新消防本署 H28.2 運用開始
- 新市立図書館 H28.6 開館
- 家庭医療センター H27.6 開設
- コミュニティセンター H29.3 開設



〒319-1542 茨城県北茨城市磯原町本町 2-4-12
 TEL:0293-24-8500 <http://t-minoru.com/>
 FAX:0293-24-8503 info@t-minoru.com

後援会討議資料

北茨城市長 豊田 稔 ご挨拶

「住んでよかった北茨城」を目指し、人もまちも健康でいられる“健康都市きたいばらき”を宣言し4年間様々な事業に取り組んでまいりました。

そして、長年の懸案だった**清掃センターの建て替え**にあたり高萩市との広域でのごみ処理施設を建設することで、国の補助要件である人口5万人を満たし、施設の建設費に循環型社会形成推進交付金と震災復興特別交付税と合わせて**最大97.5%補助**が受けられる見通しがたちました。また、中郷町の市境に茨城県が所有する土地の譲渡を受けることができ用地が確保されたことから、整備に関する基本計画に取り組んでいるところです。今後は建設費の交付金獲得に向け強く国へ働きかけてまいります。

今後はさらに、震災復興事業の総仕上げと、磯原中学校と華川中学校の統合による**新磯原中学校**の建設に全力で取り組むと共に、**学校給食費の無償化**を実施いたします。

そして、第1次産業を成長産業と捉え新たな取り組みを展開してまいります。

これからの4年間も私の政治理念であります“感謝と思いやり”を忘れず、**市民が安心安全で暮せる街づくりに邁進**してまいります。

市民が安心安全で住んでよかった街づくりを目指して

【子育て一番】

- 18歳までの医療費を完全無料化
- 第1子、2子に子育て世帯応援商品券を支給
- 保育料の第2子無償化を実現
- 建設予算0円で磯原子育て支援住宅を整備
- 子育てママなどを支援する「中郷子どもの家」、「磯原子どもの家」を整備



【健康な暮らし】

- 筑波大学と連携して総合診療医を養成する家庭医療センターを開設
- 子育て、健康、介護等の総合相談窓口となる「元気ステーション」を開設

【市財政の建て直し】

- 市税徴収率 **95.7%**達成。H18年度比12%UPで**約7億円の税収確保**
- 市職員数の**適正管理**で、約100人の人員減で**7億円を超える財源を確保**

心豊かな暮らし

Happy Life

- 先進的で特色ある教育を推進する
関本小中一貫校の開校
- 心の復興と世代を超えたコミュニティを形成する新図書館オープン
- 健康と生涯現役を推進する
「生涯学習センター」と「期待場」の整備
- 学習環境を整える
小中学校のエアコン整備

- 国体テニス競技開催と体力の維持・向上のためのテニスコート整備
- 屋内フットサル場（2面）整備
- 地域活性化事業
「芸術によるまちづくり」を推進しています
- 農業の維持、活性化のために
飼料用米等に独自の上乗せ補助を実施

【安心安全な暮らし】

- 生命と財産を守る消防庁舎を高台に移転新築しました
- 交通弱者にやさしいタクシー利用助成券を支給
- 災害、救急、医療等サービス向上と生活利便性が向上するインフラ整備